

【科目名】	研究法	専門分野(1単位)	【講師名】	櫻井 直人(作業療法士)			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 作業療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	9:00~10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	作業療法の主要な研究法について学ぶ 3年間で学んだ作業療法に関する知識を復習する						
前提知識	作業療法に必要な検査・評価方法の理解						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習( )				
到達目標	研究に必要な基礎知識を習得し、具体的な研究計画を立案出来るようになる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	研究法の概論・3つバイアス シングルケースのデザイン	エビデンスとは？(エビデンスの消費者・生産者？) 3つのバイアス(選択バイアス・交絡・情報バイアス) 症例研究と症例報告(ABデザイン、ABAデザイン、ABABデザイン など)	櫻井
	2	データの区分(尺度の種類) 代表値、検定	質的尺度(名義尺度・順序尺度)、量的尺度(間隔尺度・比率尺度) データの信頼性と妥当性 代表値とは？(中央値、最頻値、平均値 等) パラメトリック検定(t検定)、正規分布、ノンパラメトリック検定(X2検定)	櫻井
	3	帰無仮説と検定の手順 ※PC使用予定 研究のデザインとエビデンス	帰無仮説の成立とは？ 検定の手順(p値と有意水準) メタアナリシス、ランダム化比較試験(RCT)、コホート研究(前向き・後向き) ケースコントロール研究、前後比較研究	櫻井
	4	横断研究と縦断研究、介入研究と観察研究 研究計画書の書き方について	独立変数と従属変数、スクリーニングテストの評価(ROC曲線とは？) 確認テスト(国家試験レベルの問題) 研究計画の基礎の理解	櫻井
	5	まとめと評価①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 作業療法を行う上で必要な知識全般	全教員
	6	まとめと評価②		全教員
	7	まとめと評価③		全教員
	8	まとめと評価④		全教員
教科書 参考書	標準作業療法学 作業療法研究法(第2版) クエスチョンバンク作業療法士専門問題 国家試験問題解説2018			
授業に必要な物	授業内にてPCを使用予定			
備考				

【科目名】	地域作業療法学総論	専門分野(4単位)	【講師名】	阿部順先生、瀧島美紀先生、渡部達也先生、櫻井、金澤、川崎、小野(作業療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年作業療法学科			
【時間数】	60時間 (2時間 30回)		【時間帯】	9:30~12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	地域作業療法の基本理念を学ぶ 地域作業療法における、各対象領域の実際を学ぶ						
前提知識	作業療法に関わる各論						
【実施形態】	講義(○)	演習( )	実習( )				
到達目標	地域におけるチーム医療を理解し、その中で作業療法の役割を理解する。 各論を踏まえたうえで、地域における作業療法の流れを理解し、評価や実施方法がわかる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				50	50	
	実施時期						
	補足					グループワーク・実習	
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○				○	
	思考・推論	○				○	
実践・表現	○				○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	地域作業療法総論①	総論:地域とは	小野
	2	地域作業療法総論②	総論:制度・施策(介護保険法、障害者自立支援法など)	小野
	3	地域作業療法総論③	総論:アセスメント～マネジメント	小野
	4	地域作業療法総論④	生活行為向上マネジメント(MTDLP)とは	小野
	5	地域作業療法総論⑤	生活行為向上マネジメント(MTDLP):ケーススタディー①	小野
	6	地域作業療法総論⑥	生活行為向上マネジメント(MTDLP):ケーススタディー②	小野
	7	地域作業療法総論⑥	生活行為向上マネジメント(MTDLP):ケーススタディー③	小野
	8	地域における高次脳機能障害に対する支援①	高次脳機能障害に対する地域支援①	金澤
	9	地域における高次脳機能障害に対する支援②	高次脳機能障害に対する地域支援②	金澤
	10	地域作業療法各論①	病院(身体機能領域、精神機能領域)、診療所(クリニック)	川崎
	11	地域作業療法各論②	介護老人保健施設、介護老人福祉施設	川崎
	12	地域作業療法各論③	通所介護施設、通所リハ、訪問作業療法	川崎
	13	地域作業療法各論④	地域包括ケアシステム、地域包括支援センター	川崎
	14	地域作業療法各論⑤	発達支援、教育	川崎
	15	地域作業療法各論⑥	地域生活移行(ACT; 包括的地域生活支援プログラム)	川崎
	16	がんリハビリテーション①	がんリハの実際	阿部先生
	17	がんリハビリテーション②	がんリハの実際	阿部先生
	18	地域作業療法総論⑦	地域支援移行事業の準備①	櫻井
	19	地域作業療法総論⑧	地域支援移行事業の準備②	櫻井
	20	がんリハビリテーション③	がんリハの実際	阿部先生
	21	がんリハビリテーション④	がんリハの実際	阿部先生
	22	地域作業療法の実際①	看護の実際(1)	瀧島先生
	23	地域作業療法各論⑧	就労支援(高次脳機能障害、IPSなど)	川崎
	24	地域作業療法各論⑨	認知症支援、在宅(終末期)	川崎
	25	地域作業療法の実際②	訪問リハの実際	渡部先生
	26	地域作業療法の実際③	看護の実際(2)	瀧島先生
	27	予防教室①	体験実習(1) 南中山市民センター	櫻井・小野
	28	予防教室②	体験実習(2) 南中山市民センター	櫻井・小野
	29	予防教室③	体験実習(3) 南中山市民センター	櫻井・小野
	30	予防教室④	体験実習(4) 南中山市民センター	櫻井・小野
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第3版			
授業に必要な物	PC・プロジェクター その他			
備考	体験実習では、髪の毛の長い人は臨床実習と同様に髪をまとめること。			

【科目名】	職業関連活動援助技術	専門分野(1単位)	【講師名】	佐藤こずえ先生、小松原靖子(作業療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第 3 学年 作業療法学科			
【時間数】	15時間 ( 2時間 8回)		【時間帯】	10:40~12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	障害がもたらす職業生活の支障について理解する。 職業関連領域の評価の目的および日本における職業リハビリテーションについて理解する。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)	演習( )	実習( )				
到達目標	職業関連活動における作業療法士の役割を理解する。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				100		
	実施時期				平時・当科目終了時		
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	職業関連活動総論	職業関連活動とは、障害者の就労制度、就労移行支援事業 職業能力適性の評価 他	小松原
	2	障害者就労移行支援施設見学①	Aグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Bグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 CDグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	櫻井 小松原
	3	障害者就労移行支援施設見学②	Aグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Bグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 CDグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	櫻井 小松原
	4	障害者就労移行支援施設見学③	Cグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Dグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 ABグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	金澤 小松原
	5	障害者就労移行支援施設見学④	Cグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Dグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 ABグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	金澤 小松原
	6	見学実習のまとめ	グループに分かれて情報共有・まとめ	小松原
	7	就労支援事業の実際	障害者の職業リハビリテーションとは、障害者雇用の現状、障害者特性と就労のポイント	佐藤こずえ先生
	8	就労支援事業の実際	職業選択と就職活動、職リハで求められているOTの専門性	佐藤こずえ先生
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学			
授業に必要な物	PC・プロジェクター その他			
備考	施設見学は私服。髪の毛の長い人は臨床実習と同様に髪をまとめること。			

【科目名】	福祉・機器活用援助技術Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】	金澤聡(作業療法士) 小崎かな絵(作業療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第 3学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 ( 2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 17 :00 (他時間割参照)			
授業内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住環境支援の概念および実践(基本的知識、住環境評価・介入)について学び、理解する。</li> <li>・自助具の概念及び実践(疾患との適合、作製)について学び、理解する。</li> </ul>						
前提知識	・各疾患の病態および症状や特徴の理解(自助具)						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習( )				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住環境支援の概念を理解し、住環境評価・介入ができる。</li> <li>・各疾患に対し、自助具の適切な選定の視点を身に付ける。</li> </ul>						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論					○	
実践・表現					○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	住環境整備について	住宅の機能、日本の住宅の特徴、住宅が具備すべき性能、住宅改修に必要な情報、住宅改修の考え方と工夫、場所別の住宅改修の要点、	金澤
	2	住環境整備について	車いす(手動車いすの各部名称、車いすの走行に必要な開口幅、介護保険制度)	金澤
	3	住環境整備の手段と基本的配慮	福祉用具(移動補助具、入浴関連用具、更衣・整容関連用具、トイレ関連用具、食事関連用具、家事支援用具、各種スイッチ、その他)、各種体験	金澤
	4	住環境整備の手段と基本的配慮	障害別住宅改造の留意点	金澤
	5	図面作成	平面図の書き方、図面作成、	金澤
	6	図面作成	図面作成	金澤
	7	自助具(概要・計画)	自助具についての理解	小崎
	8	自助具(作成)	自助具作成	小崎
	9	自助具(作成)	自助具作成	小崎
	10	自助具(作成)	自助具作成	小崎
	11	自助具(作成)	自助具作成	小崎
	12	自助具(発表)	自助具作成	小崎
	13	まとめ	福祉機器に関連する国家試験問題	小崎
	14	まとめ	福祉機器に関連する国家試験問題	小崎
	15	まとめと評価	福祉機器に関連する理解	金澤
教科書 参考書	作業療法全書 改訂第3版 福祉用具の使い方・住環境整備			
授業に必要な物	PC・プロジェクター			
備考				

【科目名】	作業療法管理・運営・法規	専門分野(1単位)	【講師名】	渡部達也(作業療法士)、小崎かな絵(作業療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第 3学年 作業療法学科			
【時間数】	16時間 ( 2時間 8回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	作業療法士として現場で働くために、関連する制度や業務内容、管理・運営について理解する。						
前提知識	1.2年次の講義内容						
【実施形態】	講義(○)		演習( )		実習( )		
到達目標	作業療法に関連する各制度を理解する。 作業療法の記録や報告の重要性に気付くことができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				100		
	実施時期 補足						
	関心・意欲	○			○		
	知識・理解				○		
	思考・推論				○		
	実践・表現				○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	医療福祉制度、作業療法の診療報酬・介護報酬	社会保険制度、診療報酬と請求の仕組み	小崎
	2	作業療法に関連する制度・法規	理学療法士法及び作業療法士法、個人情報保護に関する法律、その他関連法律	小崎
	3	医療経済	リハビリテーション医療に対する経済学的な視点と作業療法の未来	小崎
	4	作業療法部門の管理・運営	作業療法部門の開設と起業	小崎
	5	管理運営の要素	組織とマネジメント	小崎
	6	日常業務と管理運営	日常業務、管理運営	小崎
	7	作業療法の記録と報告	記録の目的と種類	小崎
	8	起業について	管理・運営の実際	渡部先生
教科書 参考書	標準作業療法学 作業療法概論 第3版			
授業に必要な物	PC・プロジェクター その他随時確認すること			
備考				

【科目名】	臨床実習Ⅱ-①	専門分野 (8単位)	【講師名】	臨床実習担当教員 櫻井直人(作業療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 作業療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)			
授業内容・目標	指導者の元、基本的作業療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した作業療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義( )	演習( )	実習(○)				
到達目標	職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的作業療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画				
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9週間 (45日間)	1	臨床実習Ⅱ-①		
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	臨床実習Ⅱ-②	専門分野 (8単位)	【講師名】	臨床実習担当教員 櫻井直人(作業療法士)			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 作業療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)			
授業内容・目標	指導者の元、基本的作業療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した作業療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義( )	演習( )	実習(○)				
到達目標	職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的作業療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画				
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9週間 (45日間)	1	臨床実習Ⅱ-②		
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類			
授業に必要な物				
備考				